

事業所名		Y C Cわくわく教室		支援プログラム（放課後等デイサービス）		作成日		令和6	年	12	月	28	日
法人（事業所）理念		人が生きる喜びを感じられる’自分の居場所’を提供し、そこで生きる人と支援する人双方の幸福を追求します。											
支援方針		誰かと身体を動かす楽しさを体験しながら、社会性を育むことを目指します。子どもたちは他のこどもと運動能力を比べられることはなく、遊びの中で身体を動かす楽しさを体験していきます。①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③ 集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行っています。											
営業時間		月曜日～金曜日 14：00～20：00 土曜日 10：30～17：30				送迎実施の有無		あり なし					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・来る時、帰る時の子どもたちの様子を把握し共有します。 ・自分で支度をし、体調の悪い時は自分で伝えられるように支援していきます。 ・自分で考えて、選択できる力をつけていきます。											
	運動・感覚	・体操、長縄、跳び箱、マット運動、鉄棒、リズムに合わせて体を動かす、球技などのさまざまな運動を行い、体のバランス力を養って体幹を鍛え、筋肉の持久力を高めていきます。 ・手先の力加減などを用いる遊びを通じて、巧緻性を高めていきます。 ・折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつけていきます。											
	認知・行動	・毎回こども自身が目標設定・振り返りを行うことで、時間やルールを意識させたり、達成できたことを褒めて、自己肯定感を育みます。 ・ホワイトボードに書いたタイムテーブルの確認による時間の意識や経過を感じられるように支援します。 ・小集団での楽しい遊びや関わりの中で、自分の気持ちを知り前向きな行動になれるように支援します。											
	言語 コミュニケーション	・小集団での協力ゲームで仲間意識を持ち、楽しさを味わってもらいます。 ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化した支援を行います。 ・自己紹介や自分の思いをみんなの前で発表する機会をつくります。 ・異年齢の子との関わり方を知ってもらいます。											
	人間関係 社会性	・子どもとの信頼感を育み、子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。 ・集団活動全般を通じて、人間関係のトラブルの振り返りや周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方を学んでもらいます。 ・あいさつが自然にできるように意識づけをしていきます。 ・役割分担のある遊びなどの協力ゲームを設定しています。											
家族支援		・気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・子どもの発達上の課題を確認して、家庭と連携して支援に取り組みます。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。				移行支援		・移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・進学先や他関連機関との連携を図り支援体制を構築します。					
地域支援・地域連携		・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。 ・学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。				職員の質の向上		・所内研修を年10回以上行い、子どもの特性に応じた対応や、活動参加への困難さに対する支援方法等について学びます。 ・他の事業所の職員を交えた事例検討会を行い支援の向上を図ります。					
主な行事等		・（8月）夏祭り、（10月）ハロウィン、（12月）クリスマス、（不定期）ゲーム大会などを実施											

事業所名		Y C Cわくわく教室		支援プログラム（児童発達支援）		作成日		令和6	年	12	月	28	日
法人（事業所）理念		人が生きる喜びを感じられる’自分の居場所’を提供し、そこで生きる人と支援する人双方の幸福を追求します。											
支援方針		誰かと身体を動かす楽しさを体験しながら、社会性を育むことを目指します。子どもたちは他のこどもと運動能力を比べられることはなく、遊びの中で身体を動かす楽しさを体験していきます。①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③ 集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行っています。											
営業時間		月曜日～金曜日 14：00～20：00 土曜日 10：30～17：30				送迎実施の有無		あり なし					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・来る時、帰る時の子どもたちの様子を把握し共有します。 ・自分で支度をし、体調の悪い時は自分で伝えられるように支援していきます。 ・自分で考えて、選択できる力をつけていきます。											
	運動・感覚	・体操、長縄、跳び箱、マット運動、鉄棒、リズムに合わせて体を動かす、球技などのさまざまな運動を行い、体のバランス力を養って体幹を鍛え、筋肉の持久力を高めていきます。 ・手先の力加減などを用いる遊びを通じて、巧緻性を高めていきます。 ・折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつけていきます。											
	認知・行動	・毎回こども自身が目標設定・振り返りを行うことで、時間やルールを意識させたり、達成できたことを褒めて、自己肯定感を育みます。 ・ホワイトボードに書いたタイムテーブルの確認による時間の意識や経過を感じられるように支援します。 ・小集団での楽しい遊びや関わりの中で、自分の気持ちを知り前向きな行動になれるように支援します。											
	言語 コミュニケーション	・小集団での協力ゲームで仲間意識を持ち、楽しさを味わってもらいます。 ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化した支援を行います。 ・自己紹介や自分の思いをみんなの前で発表する機会をつくります。 ・異年齢の子との関わり方を知ってもらいます。											
	人間関係 社会性	・子どもとの信頼感を育み、子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。 ・集団活動全般を通じて、人間関係のトラブルの振り返りや周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方を学んでもらいます。 ・あいさつが自然にできるように意識づけをしていきます。 ・役割分担のある遊びなどの協力ゲームを設定しています。											
家族支援		・気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・子どもの発達上の課題を確認して、家庭と連携して支援に取り組みます。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。				移行支援		・移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・進学先や他関連機関との連携を図り支援体制を構築します。					
地域支援・地域連携		・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。 ・学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。				職員の質の向上		・所内研修を年10回以上行い、子どもの特性に応じた対応や、活動参加への困難さに対する支援方法等について学びます。 ・他の事業所の職員を交えた事例検討会を行い支援の向上を図ります。					
主な行事等		・（8月）夏祭り、（10月）ハロウィン、（12月）クリスマス、（不定期）ゲーム大会などを実施											